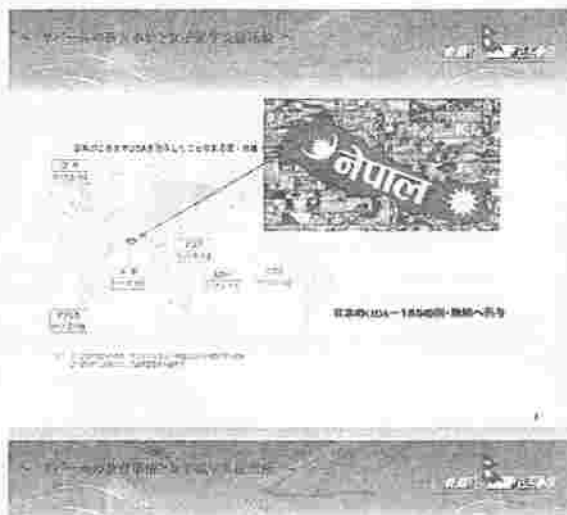


ネパールの教育事情と女子就学支援活動

特定非営利活動法人ミランクラブジャパン
理事長 マナンダール マダープ ナラエン

昨年10月27日にさいたま新都心で行われた「ダルマスタリ学校スタッフ来日セミナー」で私が講演した内容を掲載します。紙面の関係でデータが小さくなり見づらいたと思いますが、参考にして頂ければ幸いです。またの機会に皆様にご直接情報提示でき、そして皆様からのご質問に答えたり意見交換ができればと思います。皆様の変わらぬご支援とご協力に感謝しております。



国際協力とは？

「国際協力」とは、一言でいえば、国際社会の安定と平和のために、国境を超えた協力・援助活動のことである。これは政府間、又は民間だったりする。

「国際協力」に関わる方法は、

- 寄付金や支援物資を提供する
- NGOやINGOでボランティアを行う
- 国際機関で働く

こうした活動に関わり行う協力者は自分自身も精神的豊かきを得て、大きく成長していく。



～ 日本からの支援領域 ～



日本の国際化 - 60周年を迎えようとしている日本のODA

- 1954年、日本はコロンボ・プランに加盟 (開発途上国援助のための国際機関のひとつ)
- これを機に開発途上国への経済協力に取り組みようになった
- 今日、日本の協力先は185以上の国や地域に広がり、NGO (非政府団体)との連携による援助を含めて様々な形態で行われております
- ネパールもその支援を受ける国の一つです





ネパールはどんな国？

- 国名 : ネパール連邦民主共和国 (2008年5月以降)
 面積 : 14.7万 Km² (北海道の約1.8倍)
 首都 : カトマンズ (海拔 : 1,348m)
 海拔 : 70m (東部の生誕地ルンビニ近く) ~ 8,848m (エベレスト山)
 山岳地帯 : 77%
 時差 : 日本より3時間(5分遅れ)
 GNP : 642ドル (2011年)
 人口 : 2,662万人 (2011年)
 平均寿命 : 61歳
- 民族 : シブ、ライ、タマン、ネール、チャッパ、マガル等 60以上
 言語 : 70以上
 宗教 : 仏教、ヒンドゥ教、回教など
 通貨レート : 1ルピー = 約1.1円 (2012年10月)



ネパールの大学

- Tribhuvan University, カトマンズ市
 Kathmandu University, ドゥディケール町
 Pokhara University, ホカラ市
 Purbanchal University, ビラートナガル市



ネパールの近代教育について

- 1853年: ネパール初の学校創設
学校は当時政權を握っていたラナー族とその廷臣のためのものであった。
 - 1951年: 一般の人々のための学校設立
- ～識字率の推移～
- ・ 1952～1954年: 約5%
 - ・ 2001年: 48.2% (15歳以上, 男性62.2% 女性34.6%)
 - ・ 2009年: 59%
 - ・ 2015年: 100% (ネパール文部省の予定)



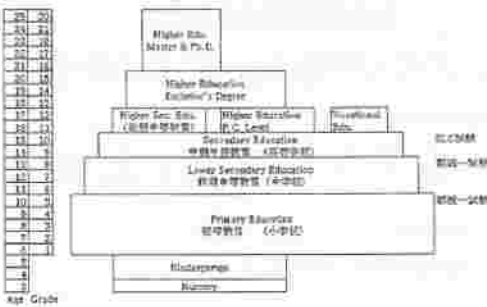
教育への課題

- ・ 義務教育の制度化
- ・ 教育普及の障害となる重要事項
性別、民族、地域的な差別
経済的階級などに基づく社会的格差
- ・ 教育管理
- ・ 教育実質
- ・ 言葉の問題

<これらの課題を抱えていることは文脈にも認めている>



ネパールの教育制度



Source: 教育委員会より提供資料



『ミランクラブ ジャパン』とは

- ☆ ミランクラブは、人と人との出会い「ミラン」を大切にし、ネパールに想いを持つ人たちが協力し合い支援活動を行っている団体です。
- ☆ ミランクラブは1988年にネパールの女子の識字率向上を目的に発足しました。
- ☆ ミランクラブは『ネパールのすべての女性に教育を！』を目標に活動を行っています。



1951年以降の教育現場

- 1951年: 約10,000人の学生 約300校 (小・中学校)
 - 2012年: 約720万人の学生 49,000校 (保育・幼稚園、小・中・高等学校)
- <参考 2012年 教師222,000人以上>



ミランクラブの設立目的

貧困や男尊女卑の風潮により就学できない孤児または母子家庭の女子のための就学支援会の援助

将来母親となる女子の教育向上を通じて、乳幼児の死亡率低下を目指し、また教育の大切さを子供に伝える

女子の生活環境の向上に努め、自立への道を共に考える

ミランクラブの大きな柱

- 奨学金支援制度 (里親制度)
- 教育環境整備支援制度

ミランクラブでは会員の会費及びバザーや寄付金等の収益金で運営をしております。その収益金は現在里子となっている子供たちの奨学金と一部の教育環境整備支援金になっています。そして、ネパールにはこの奨学金を持っている子供たちが多数います。

私たちの支援だけでは、全ての段階まで力が及びません。よって多くの個人や団体の支援が不可欠であります。

皆様に私達の活動を理解して頂き、里子支援と教育環境整備支援の協力をお願いしています。

奨学金支援制度 (里親制度)の歩み

- 1988年 ミランクラブ 発足 (2004年にNPO法人登録)
- 1990年 奨学支援開始 (里子第一号は現在MCNのスタッフ) 女子の教育支援活動は現在まで途絶えることなく続いている
- 1992年 ミランクラブネパール発足 (日本とネパールの協力体制樹立)
- 1998年 教育環境整備支援(準備段階)開始
- 2012年 奨学生は延べ64名超 現在里子たちは342名

会費制度

- 会員は会費を払うことにより、ミランクラブの活動に賛同したことになる。会費を払う際、奨学支援希望か教育環境整備支援希望かを選んでもらう。現在会員は97名で、16名が教育環境整備支援会員です。私たちは奨学金を受ける子供を里子、会員を里親と呼んでいます。

会費

- 年会費 15,000円/1人分
- 家族年会費 27,000円/2人分
- 学生年会費 3,000円/1人分
- 賛助年会費 5,000円/一口



奨学金支給地域と里子数



奨学金について

MCNスタッフが子供たちの学校や住まいを訪問し、直接、奨学金を支給します。

- 1年生～10年生までの奨学金 400ルピー/1ヶ月 (約400円)
- 10+2生(短大生)以降の奨学金 500ルピー/1ヶ月 (約500円)
 - ・ 短大以降の奨学金は就職後10年以内に元金を無利子で返済する契約を行っています。(特別里親からの支援は返済義務なし)
- 特別里親奨学金制度 2年分で5万円 (短大1年目3万円、2年目2万円) 現在の特別里親は12名です。

短大に進学する里子たちには、500ルピーでは不足です。そのため特別里親の募集を行っています。

教育環境整備支援制度

ネパールの女性たちの就業意欲に応えていくには、充実した教育、訓練の場が必要です。私たちは、2002年から教育訓練支援を行っています。

- 職業訓練センター
 - ・ 支援金で、ミラングループ傘下の敷地内にある職業訓練センターで基礎クラス、コンピュータークラス、スクリーンプリント訓練、美容師クラスなどを行っています。
 - ・ 訓練期間はコースにより、3ヶ月～6ヶ月です。
 - ・ 訓練生は材料費の一部を負担しています。

里子たちの奨学金を受け取った顔回りと笑顔の子供



賛同団体の協力を得て教育環境整備及び訓練事例

1. 職業訓練所 (フォトボランティアグループにより 2002年開設)



1.1 写真撮影 1.2 モーター修理 1.3 縫製

2. 学校協力 (岐阜県東海ロータリークラブにより 2002年開設)



2.1 校舎 2.2 図書室 2.3 校庭

ミランダルマスター学校生徒数と授業料

学年	生徒数		ミランダルマスター学校授業料	
	男子	合計	学年別	授業料
高学年	16	16	高学年	400
中学部	19	19	高学年	450
	20	20	高学年	450
	19	20	高学年	450
	20	21	高学年	450
	20	21	高学年	450
小学部	20	20	高学年	450
	20	20	高学年	450
	20	20	高学年	450
	20	20	高学年	450
	20	20	高学年	450
保育部	10	10	高学年	450
	10	10	高学年	450
	10	10	高学年	450
合計	200	200	合計	200

3. 図書館 埼玉県国際交流協会



3.1 1階 3.2 2階 3.3 日本文学本 3.4 読者登録用図書

4. 客宿舎 (ひらしほりの6協会の支援により 2000年完成)



4.1 机の配置 4.2 会客の時間 4.3 建築の様子

5. トイレ建設 埼玉県国際交流協会



5.1 1階 5.2 2階 5.3 トイレ

6. 上水道配管 (N.YOTOの支援により 2011年完成)



6.1 汲水所 6.2 水道管 6.3 水塔建設による水供給の確保

主な国内活動内容

- NGOフェスティバルに参加
本館・支部が地域でのNGOフェスティバルに積極的に参加
- 月一回「ナマステ」会報発行
毎月会員向けに会報で活動報告
- ホームページで活動紹介
毎月ホームページを更新、会員以外も情報を共有可能
- ボランティアの募集
・ MC参加イベント、企画イベントのボランティア活動に参加希望の方々の受け入れ
・ ネパールの短期・長期教師ボランティア希望の方の募集
- 月一回の理事会議開催、料理教室、ネパール語教室、講演など

～ 国内での支援活動 ～

◆ 国内の国際協力イベントに参加し、ミランクラブの活動を理解してもらう。



◆ 料理教室、印刷講座、国際理解授業などで、ネパールの文化紹介



～ 広報活動 ～



～ 会員親睦旅行など ～

